

当院採血において「可溶性インターロイキン-2 レセプター (sIL-2R)」を検査された患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

#### 記

研究課題名	LABOSPECT008 による可溶性インターロイキン-2 レセプター (sIL-2R) 測定試薬「ナノピア IL-2R」の基礎的検討と sIL-2R 測定の有用性
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 藤原 祥裕
担当科等	中央臨床検査部
研究責任者	中央臨床検査部 (職名) 技師長 (氏名) 谷 浩也
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	非該当
研究の意義・目的	現在、外部委託検査している sIL-2R を病院内検査室にて検査可能にすることにより、検査結果報告時間の短縮を目的としています。
対象となる患者さん	倫理審査承認日から 2020 年 3 月 31 日までに当院を受診され、採血にて sIL-2R を検査された患者さん
研究の方法	sIL-2R 検査のために採血された血液を使用し、sIL-2R 測定試薬「ナノピア IL-2R」の基礎的検討を行います。また、sIL-2R を検査することによる診療への有用性を調べます。分析装置は自動分析装置 LABOSPECT008 (日立ハイテクノロジー) です。研究内容は①同時再現性②試薬のオンボード安定性③検体の保存安定性④希釈直線性⑤検出限界⑥プロゾーン現象⑦現在の検査方法との相関⑧共存物質の影響⑨試薬コンタミネーションの影響⑩結果報告時間の短縮による診療への有用性の調査です。研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧できること並びに入手・閲覧を希望する場合は下記問い合わせ先までご連絡ください。
研究期間	倫理審査承認日 ~ 2021 年 3 月 31 日
研究に用いる試料・情報	試料: 血液 情報: 診療情報
外部への試料・情報の提供	なし
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。ただし、試料・情報が個人を識別できる場合のみ対応可能です。

問い合わせ先	愛知医科大学病院 中央臨床検査部 担当者：(職名) 臨床検査技師 (氏名) 鈴木崇峰 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 35814)
--------	---